

2022年8月5日 第3396回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 前田 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」 ソングリーダー 佐久間 博一 会員

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 王 冠博 様

<誕生月祝> *渡辺 磨 (S.44.8.3) *畑 宏明 (S.39.8.8)

*土田 匡明 (S.40.8.16) *田中 由紀子 (S.53.8.24)

*山下 和男 (S.40.8.27) *岩崎 次郎 (S.42.8.29)

*谷 繁信 (S.21.8.31) *八 卷 敏博 (S.28.8.31)

各会員

<入会月祝> ・波島 顕明 ・佐久間 博一 ・岡 昌憲 ・野坂 英八

・宮島 才一 ・加藤 元章 ・小林 康記 ・齋藤 慎太郎

・西村 安彦 ・齋藤 秀人 ・曾我 宗光 ・濱田 恵里

・齋藤 隆 ・田村 督 ・長谷川 誠剛 ・大石 朗

・立石 文彦

各会員

<新会員入会式> *東日本電信電話株横須賀支店 児玉 信藏 会員

<奨学金授与式> *米山奨学生 王 冠博 様

<会長報告> *第1回理事役員会報告

*ガバナー事務所より

・米山奨学セミナー&世話クラブカウンセラー・クラブ米山担当者研修会開催のご案内について

8月21日(日)14:00~17:00

於：藤沢商工会議所ミナパーク6F (多目的ホール)

・ローターアクト委員会開催のご案内について

8月21日(日)13:00~ 於：第一相澤ビル6F「会議室」

<委員長報告> *雑誌委員会 岩崎委員よりロータリーの友8月号

*出席委員会 加藤 備 委員より7月出席報告 7月分平均出席率 78.86%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
7月 1日	114名	108名	88名(6名)	20名	6名	87.04%
8日	114名	105名	74名(4名)	31名	5名	75.24%
15日	114名	102名	81名(8名)	21名	0名	79.41%
29日	114名	99名	68名(10名)	31名	5名	73.74%

<幹事報告> *ロータリー日本財団より確定申告用領収証について

<出席報告> *出席委員会 加藤 備 委員より8月5日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
115名	104名	77名(10名)	27名	4名	77.88%

<ニコニコ報告>

・勝見、藤村、佐久間、齋藤 眞、前川 各会員 米山奨学生 王 冠博様ようこそお越しくできました。本日の例会もごゆっくりお過ごしください。

・渡邊、田中、岩崎、八 卷 各会員 誕生月祝いとして

・佐久間、宮島、加藤 備、小林 備、齋藤 眞、

齋藤 備、濱田、田村、長谷川、大石 各会員 入会月祝いとして

・勝見、八木、比護、高橋、杉浦、大石、田邊、大野 備、

椿、石田、梁井、小山 備、田中、田村、福西、渡邊、松本 備、

南、馬場、濱田、中村備、猿丸、勝間、上林、小林(-)、飯塚、
岡田(備)、鈴木(豊)、杵(洸)、齋藤(眞)、前川、永井、臼井、角井、加賀本 各会員

岡田圭太会員、三浦寿夫会員、急遽の登板となりましたが、本日の新会員卓話宜しく
願います。楽しみにしています！

- ・岡田(備) 会員 本日は、新会員卓話宜しく願い申し上げます。とても緊張しますが、精一杯お話し
させていただきます。
- ・三浦 会員 本日は新会員卓話宜しく願い申し上げます。温かく親戚の甥っ子が何か発表してい
るなあ〜という眼差しで見守って下さい。
- ・三 役 児玉信藏会員、入会おめでとうございます。ロータリーライフをお楽しみください。
- ・八木、勝見、八巻、比護、高橋、田邊、加藤(備)、齋藤(眞)、上林、飯塚 各会員
東日本電信電話(株) 児玉信藏会員、ご入会おめでとうございます。共にロータリーライフ
を楽しみましょう。
- ・児玉 会員 本日入会させていただきます。どうぞよろしく願います。
- ・八巻、高橋、鈴木(洸)、長尾、物井 各会員 8月3日、7番テーブルミーティング 前田会長、
長尾副会長、瀬戸幹事にもご参加いただき、平安閣の美味しい料理と高橋会員からの日
本酒差し入れで大変楽しく過ごせました。ありがとうございました。
- ・齋藤(備)、徳永、福西、佐久間 各会員 8番テーブルミーティングを7月29日に開催しました。
会場は長尾副会長のお手配でサルスにて盛大に行う事が出来ました。有難うございま
した。
- ・長尾 会員 7月29日8番テーブルミーティングをホテルニューポートヨコスカ1階サルスにて
開催いただきありがとうございました。
- ・勝見、八巻、高橋、八木、田邊、長谷川、大野(備)、岩崎、小平、福西、
長尾、木村、鈴木(洸)、濱田、杵(洸)、齋藤(眞)、平松、齋藤(眞)、兼城 各会員
三浦学苑、軟式野球部、3年ぶりの神奈川制覇に続き、南関東も制覇おめでとうござい
ます。目指せ、全国制覇！応援しています。
- ・物井 会員 鎌倉名物ハトサブレ豊島屋本店でしか売っていない幸運を呼ぶキャラクターの名前は
鳩三郎。お待たせしました。みずほ銀行不定期預金、8136で満期となりました。
久保田ガバナーありがとう。
- ・前田 会長 ニコニコボックスは奉仕活動の貴重な資金源です。今月もボックスのご利用を宜しく
願います。

<新会員卓話 1>

岡田圭太 会員

昨年6月に歴史と伝統のある横須賀ロータリークラブに入会させて頂いた岡田圭太です。

私は、1990年に4,030gの巨大児として生まれました。31歳の午年です。体は大きく育ち、名前にも圭太と「太」という字が付くのですが、実際はとても細く、小さい心臓で、今皆さんの前でお話をするの

にとっても緊張しています。家族は4人で、私、1つ年上の妻、娘（6歳）、息子（3歳）です。趣味は「非日常なこと」を体験する事で、旅/トレイルランニング/トライアスロンです。仕事はマンションや建物の修繕工事を行っています。幼少期は、現社長である父が防水工事の工務店として平成元年に設立した横須賀市森崎の事務所兼自宅で育ちました。

高校卒業後は思い付きで、東南アジアへ数カ月一人旅に出ました。18歳での初めての海外1人旅はとても刺激的で、帰国後すぐに留学したくなり、その資金を貯めるために横須賀本町にあるバーで英語勉強も兼ねて働きました。そこで貯めた100万円を握りしめ、アジア・ヨーロッパ・アメリカの国々20カ国ほど旅しました。言葉で大変苦労しましたが身振り手振りなどでなんとか意思疎通を図り、途中農場等でも働いたりもしました。通常の留学とは異なり、流れに身を任せながら、自分なりにプランニングして、ローコストトラベルを実践しました。この旅では改めて日本国の素晴らしさ（食文化や衛生環境等）に気づきました。

今日は私の旅の実体験に基づく、勝手な物差しではありますが非日常で心身がリフレッシュできる場所を1つご案内させていただきます。私は今年度のテーマ「イマジンロータリー」を機に、ビートルズを聴くようになり、勉強をしました。その場所はイマジン、あの名曲の歌詞に秘められたメッセージ「世界平和」にも関わりのある場所かもしれません。54年前1968年にビートルズの方々が修行に訪れたインド北部のリシケシュという場所です。リシケシュは、インドの首都ニューデリーから北に300kmの位置するヨガの一大聖地と呼ばれている場所で、人口10万人程度、町の大きさは葉山町の少し小さいくらいの街です。ビートルズの他にもローリングストーンズやスティーブジョブズも訪れ修行をしたそうです。ヒマラヤの麓にある聖地リシケシュは、神聖なガンジス河と山があり、ヨガやハイキングにうってつけです。また、リシケシュは聖地であるため肉類やアルコールは一切禁止ですが、街中のレストランには野菜や豆を中心とした美味しい料理がたくさんあります。ビートルズは、ここリシケシュで東洋の精神世界に触れ、数カ月の座禅等の修行をしました。1968年にリリースされ全米・全英で1位を記録した名盤「ホワイトアルバム」に収録された多くの曲がここで作られたそうです。その3年後の1971年に「イマジン」がリリースされ、この修行でのインスピレーションが反映されているのではないかとされています。

そんな素晴らしい場所ということもあり、私も「なんちゃって修行体験」として、2012年に2カ月間ほど滞在しました。修行体験はアシュラム（寺院＝ヨガ道場）に入門し毎日、4時起床、座禅、座学、アーサナヨガ、カルマヨガ、座禅というスケジュールのアシュラム生活を行うものでした。元々は旅のネタとして数日間修行体験をしよう程度で考えていましたが、思っていた以上にこの修行体験（アシュラム生活）での孤独感を楽しく感じ、バックパッカーでいういわゆる「沈没」をしてしまったのです。修行の成果は難しいポーズができるようになったことです。それから数年ヨガはやらず体も頭も固くなってしまいましたが、最近仕事での忙しさにストレスを感じるようになり、またヨガを始めました。ヨガの目的は、以前はポーズができたときの自己満足を得ることだったのですが、最近は感情コントロールやストレスを軽減させること、また自分自身を見詰め直すことになりました。これらはさらに自己啓発にも繋げられるため、非日常なあの修行体験がとても役に立っていると感じています。

最近ではコロナ渦もあり、なかなか旅には行けませんが、トレイルランニングやトライアスロンを通じて、旅と同様に非日常を得ています。また同時に横須賀・三浦・葉山の自然の素晴らしさも感じており、この町での暮らしがとても楽しいです。私にとって非日常なことは、余白の時間として、新たなアイデアや閃きの想像や課題解決にも繋がることがある、とても大事な時間です。

最後になりましたが、ロータリークラブでの例会や活動も、日常の仕事では得られない経験や気づきが多くあり、良い意味で非日常の学びの機会を頂いていると感じています。引き続き横須賀ロータリークラブの



先輩方と光ある大きな旅にご一緒させていただければ幸いです。ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

<新会員卓話 2>

三浦寿夫 会員

皆様こんにちは！ただいまご紹介に預かりました第一生命の三浦でございます。私は昨年6月に飯塚会員にご紹介いただき、横須賀ロータリークラブに入会させて頂きました。

まずは私自身の話をさせて頂きたいと思いません。1976年6月9日に東京で生まれました。0歳の時に神奈川県の大磯町に引っ越しまして、小学校・中学校・大学までを大磯町で過ごしました。大磯町を皆さんご存じでしょうか？一番よく言われるワードは大磯ロングビーチです。遊びに行かれた方も多くいらっしゃると思います。私が小学生の頃は、アイドル水着大会や聖子ちゃん、明菜ちゃん、シブガキ隊等が波のプールのステージ上でSHOWをしていました。しかし、大磯はそのロングビーチだけではありません。軍医であり、文豪であった松本順という人が日本で初めての海水浴場を開いた場所でも有名です。また、明治から戦後にかけて偉人達の終の住処や別荘が至るところにまだ残っております。



三井・三菱・安田財閥の別荘や、吉田茂・山縣有朋・陸奥宗光・大隈重信・原敬等の歴代総理大臣の別荘や邸宅があり、伊藤博文は本籍まで大磯に移したそうです。今でも伊藤博文邸は残っており、伊藤博文の幽霊が出ることで有名です。

その大磯町で大学生まで生活をしておりました。打ち込んだことは、中学生時代から始めたサーフィンとアルバイトです。アルバイトでは色々な経験をしました。例を挙げたらキリがありませんが、普通にファミレスの店員・海水浴場のライフセーバー（海水浴場の監視員です）、ピザの配達、広告代理店のバイト（着ぐるみを着て色々なイベントに出たり、原宿でビジュアル系のバンドのデビュー告知のために仮装をして歩き回ったりするバイトです）・未承認の薬の治験のバイト（アメリカでは承認されている市販薬等の治験です）、手術室の手術後の清掃（今は規制が厳しいとは思いますが、当時は大丈夫でした）、港湾作業（タンカーからおりてくる数十トンのコンテナを人力で動かしたり、胡椒等のスパイスの麻袋を運んだりする仕事です）等々でした。体育会系ではありませんが、その経験が、この愛くるしく、謙虚でいて、人を敬う人格を形成したのではないかと考えております。

冗談はさておきまして、続いて私の仕事の話です。私は現在第一生命という会社で働いております。就職活動中は色々な会社を受けましたが、第一生命を選びました。その理由をお話したいと思います。私は就職活動するに当たって、生命保険会社を第一志望としました。その就職説明会を受けた中で、一番早く内定を出してくれたのが第一生命でした。そのため第一生命で働くことを決めたのです。では何故生命保険会社を志望したかと言いますと私の母が理由です。私の母は、私が20歳の時に鬼籍に入りました。原因は卵巣がんでした。

ご存知と思いますが、ちょっとがんの話をしみますと、がんは細胞の老化です。私たちの体は約60兆個の細胞からできていて、毎日1～2%の細胞が死にます。そこで細胞分裂をして、減った細胞を補う必要があります。その細胞分裂の際、老化によって、細胞の設計図である遺伝子のコピーミスが起きてしまうことがあります。また老化以外にコピーミスの原因として煙草や発がん性物質や自然に存在する放射線などによって、長い時間をかけて遺伝子にキズが蓄積されます。このキズがある遺伝子が細胞分裂を繰り返すことでかたまりとなり、がんとなります。がん細胞は臓器の機能を阻害するようになるのです。がん細胞は健康な人

の体にも多数（1日数千から数万個）できています。このがん細胞をその都度退治しているのが免疫細胞です。つまり我々の体の中で、がん細胞が1日5000個出来ているとしたら、毎日5000勝0敗の戦いが繰り返されています。そしてそのがん細胞が検査でわかるほど大きくなる（具体的には1cm）には10年から20年の時間が必要ですが、2cmなるには1年半から2年で大きくなり、早期がんとなっていきます。

私の母は気丈な人でしたが、がんが発見された時はステージIVで、半年で亡くなりました。悲しみはとても大きく、この場では語り尽くせない経験もしました。同時に治療費も多額となり、高額療養費を活用しても賄えない金額でした。現在は医療が更に進んでおり、健康保険適用の治療・適用外の治療・先進医療等当時に比べようのない治療費が請求されます。もちろんロータリーアンのお医者様は良心的ですのでご安心下さい。その時に親身なって相談に乗ってくれ、私の知らない母親の話をしてくれた人が生命保険会社の社員さんでした。裕福ではなかった実家ですが、保険金がおりましたので大分助かったことを学生の身ながら痛感しました。その社員の見た目は普通の方でしたが、私には菩薩に見えました。

人の痛みを取り除いたり、直接助けてくれたりする職業はお医者さん達であり、看護師の方達です。もしくは介護職の方達でしょう。でも生命保険の様に安心感や残された方たちに対して、亡くなられた方の思いを伝えることが出来る職業は生命保険だと思いました。生命保険は無駄でいいと思います。自分が亡くなる時に生命保険使わなくて無駄だったな～と思って下さい。生命保険が無駄であるということは、健康で天寿を全うするという事です。生命保険は、人生を勝負に例えるならば、負けることに賭けるギャンブルなのかもしれません。でも守るべきものがあるから、あえて負けることに賭けて、色々な事を守っている訳です。

その様な個人的な見解から、私は生命保険会社を選び、現在に至っております。生命保険というイメージは現在いいことばかりではありません。皆さん、コミュニケーションゲームの「あつまれ どうぶつの森」をご存知ですが？人気のゲームですがその中にも保険会社のホンマさんが出て来ます。最近息子がゲームをやっていて、「保険のホンマさん本当にウゼエ」と言っていました。でも保険で救われている人がいるのも事実です。生命保険はそもそも相互扶助の精神で始まっております。私はロータリーの奉仕の精神と相通じるものがあると勝手に解釈しておりますので、今後も頑張っていきたいと思っております。

最後に、仕事もそうですがロータリー活動も微力ながら頑張っていきたいと思っております。横須賀ロータリーの親睦委員会の「がん、とならないように頑張る所存です。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 前田 会長

週報担当 上田 博隆